

USBドライバのインストール方法

弊社製品には、FTDI 社の「FT232RL」を使用している為、USB デバイスドライバをインストールする必要があります。

※弊社ホームページよりダウンロードいただける USB ドライバは WindowsXP、WindowsVista には対応しておりません。

WindowsXP、WindowsVista 対応の USB ドライバをご希望の場合は、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご依頼下さい。どちらもマイクロソフトのサポートが終了している為、自己責任にてお願い致します。

該当製品 : WhiteLock21HW・WhiteLock110F・WhiteLock21AN・WhiteLock21A_RN・WhiteLock110AN・WhiteLock110A_RN

ご使用の OS、インターネット環境によって、手順が異なります。

Windows7 (64bit)、Windows8 (64bit)、Windows10 (64bit) をご使用の場合は、1 ページから参照下さい。

Windows7 (32bit) または Windows8 (32bit) をご使用の場合は、4 ページから参照下さい。

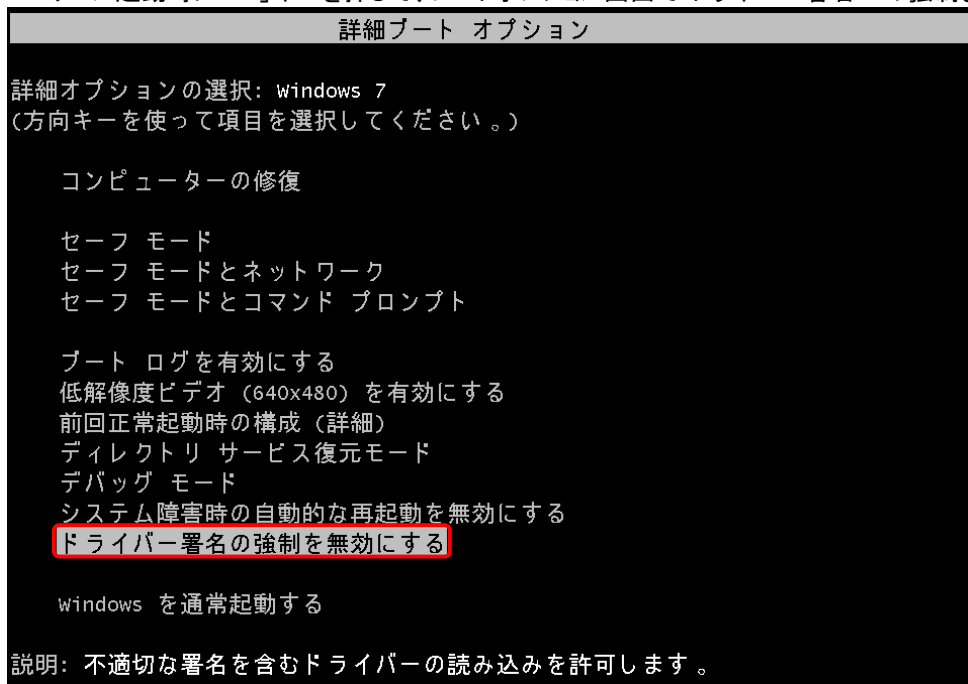
ドライバー署名の無効化

Windows7 (64bit)、Windows8 (64bit)、Windows10 (64bit) では、セキュリティ強化の一環として、デジタル署名のないドライバのインストールが行えない場合があります。予め以下の手順で、「ドライバー署名の強制」を一時的に無効にしてから、手動でドライバーのインストールを行って下さい。

※「ドライバー署名の強制の無効化」はパソコンの再起動で解除されます。

【Windows7 の場合】

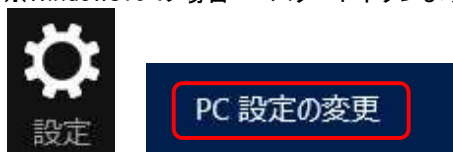
1. パソコン起動時に「F8」キーを押して、ブートオプション画面で「ドライバー署名—の強制を無効にする」を選択し「Enter」します。



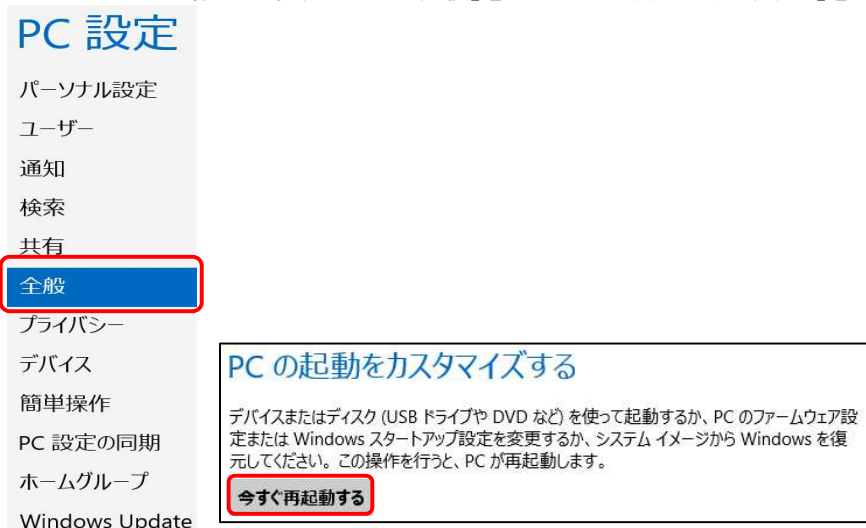
2. 起動したら、管理者権限でログインします。5 ページを参照しながら手動で USB ドライバをインストールします。

【Windows8/10 の場合】

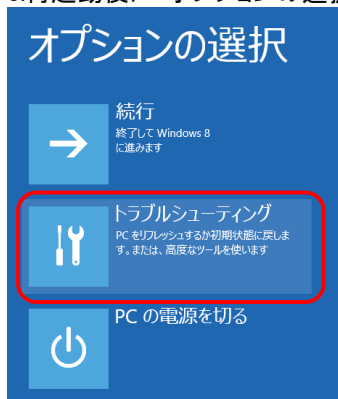
1. スタート画面右側の「チャーム」から「設定」を選択し、画面右下にある「PC の設定変更」をクリックします。
※Windows10 の場合・・・スタートボタンより「設定」を開き「更新とセキュリティ」をクリックします。



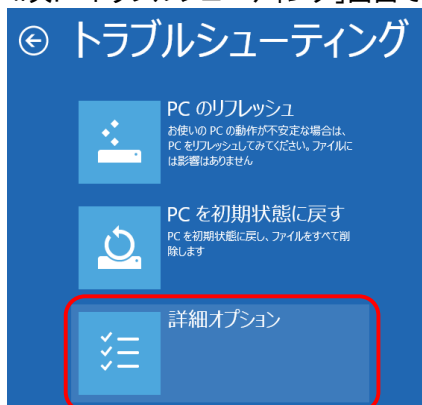
2. 「PC 設定」画面の「全般」をクリックします。
画面右下にある「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリックすると、再起動が始まります。
※Windows10 の場合・・・設定画面の「回復」をクリックし「今すぐ再起動する」をクリックすると、再起動が始まります。



- 3.再起動後に「オプションの選択」画面が表示されます。「トラブルシューティング」をクリックします。



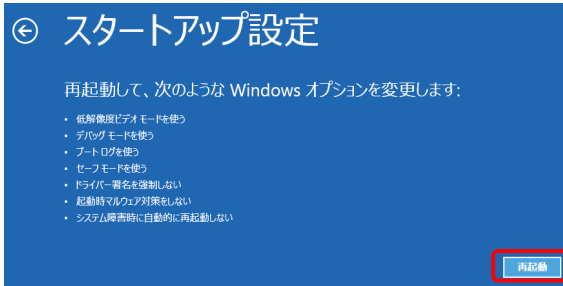
- 4.次に「トラブルシューティング」画面で「詳細オプション」をクリックします。



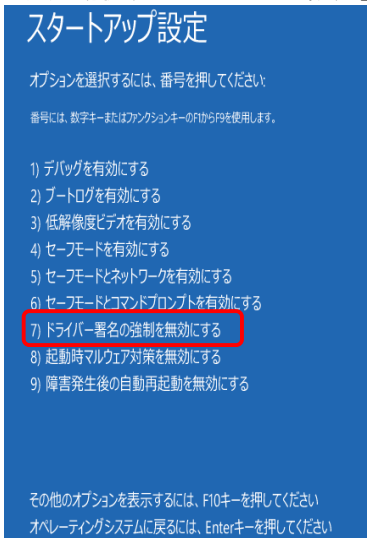
5.次に「詳細オプション」画面で「スタートアップ設定」をクリックします。



6.次に「スタートアップ設定」画面右下の「再起動」をクリックして再起動させます。



7.再起動後、「スタートアップ設定」画面が表示されますので、数字キー「7」またはファンクションキーの「F7」を押します。



8.完全に Windows8/10 が起動したら、**管理者権限でログイン**します。

もう一度パソコンを再起動すると「ドライバ署名の強制無効化」は解除されます。

インターネット高速回線(光回線又は ADSL 回線)に接続された環境の場合は、4 ページを参照下さい。

インターネット高速回線に接続されていない場合は、5 ページを参照下さい。

Windows7/8/10 自動で USB ドライバをインストールする方法

- ・自動でインストール場合は、インターネット高速回線(光回線又はADSL回線)に接続されたパソコンに限ります。(OSはWindows7/8/10)
- ・弊社製品用のUSBドライバを一度もインストールしたことの無いパソコンに限ります。
- ・インターネット高速回線(光回線又はADSL回線)に接続されていない場合は、5ページを参照して下さい。

[準備]

インターネット高速回線(光回線又はADSL回線)に接続されたパソコン(OSはWindows7/8/10)
通報装置 (WL21HW、WL110F、WL21AN、WL21A_RN、WL110AN、 WL110A_RNのいずれか)と付属のUSBケーブル
(付属のACアダプタはここでは使用しません)

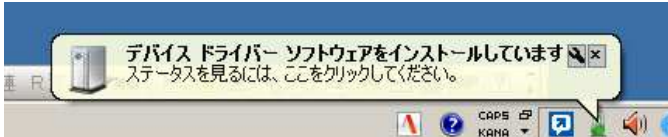
[手順]

Windows7/8/10の場合、ドライバのインストールは全て自動で行われます。

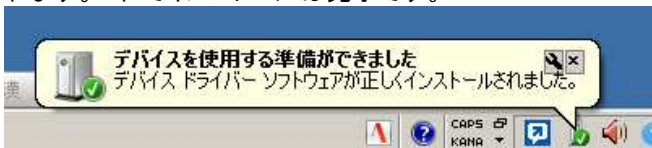
- 1.パソコンを起動し、**管理者権限でログイン**します。
インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- 2.通報装置の電源がOFFになっている事を確認し、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。
- 3.自動でインストールが始まります。

【Windows7の場合】

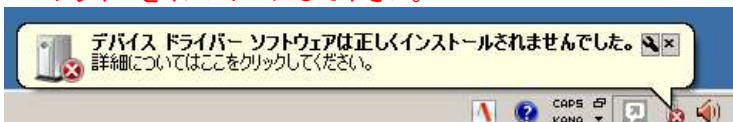
画面右下に「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」のメッセージが小さく表示されます。



しばらくすると、「デバイスを使用する準備ができました。デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。これでインストールは完了です。

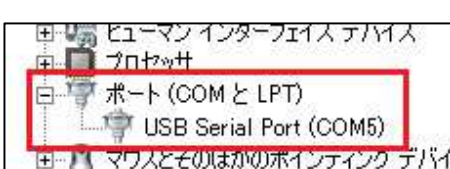


※下記の「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした」と表示された場合は、5ページを参照し手動でUSBドライバをインストールして下さい。



【Windows8の場合】

USBドライバのインストールを確認するメッセージなどは一切表示されません。また、インストールが正しく行われた場合も、インストールが失敗した場合も、どちらのメッセージも表示されません。



インストールが正常に行われた事を確認するには、デバイスマネージャーで「USB Serial Port (COM0)」の表示を確認します。

「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャー」

※数分で自動インストールが完了しますが、いつまでも表示されない場合は正しくインストールされていません。5ページを参照し手動でUSBドライバをインストールして下さい。

ダウンロードした USB ドライバをインストールする方法

インターネットに接続した環境で、弊社ホームページよりUSBドライバをダウンロードする必要があります。

[準備]

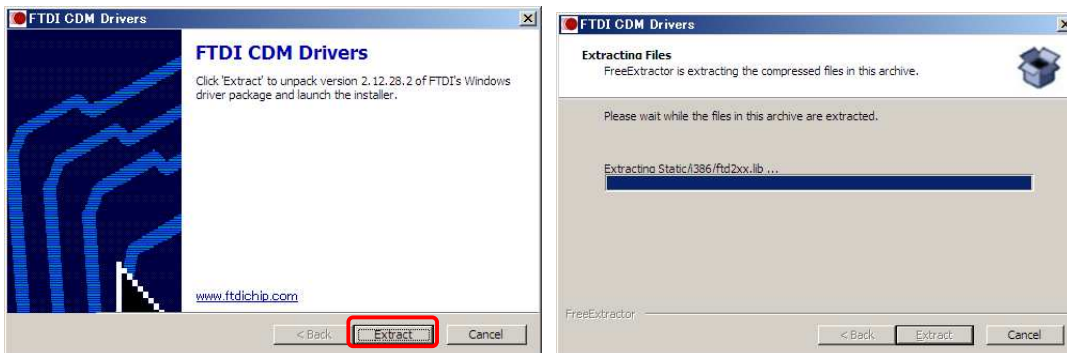
通報装置 (WL21HW、WL110F、WL21AN、WL21A_RN、WL110AN、WL110A_RNのいずれか)と付属のUSBケーブル (付属のACアダプタは、ここでは使用しません)

[手順]

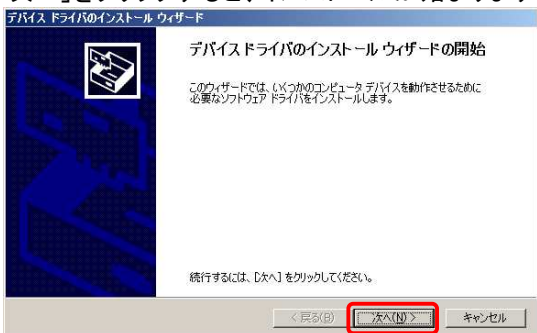
1. パソコンを起動し、**管理者権限でログイン**します。
インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションをすべて終了します。
2. トップページから「ダウンロード」→「設定ソフト」→「USBドライバ」をクリックします。
3. 「USBドライバ ダウンロード」をクリックすると、ダウンロードが開始します。
4. セキュリティの警告が表示されますが、「実行」をクリックします。



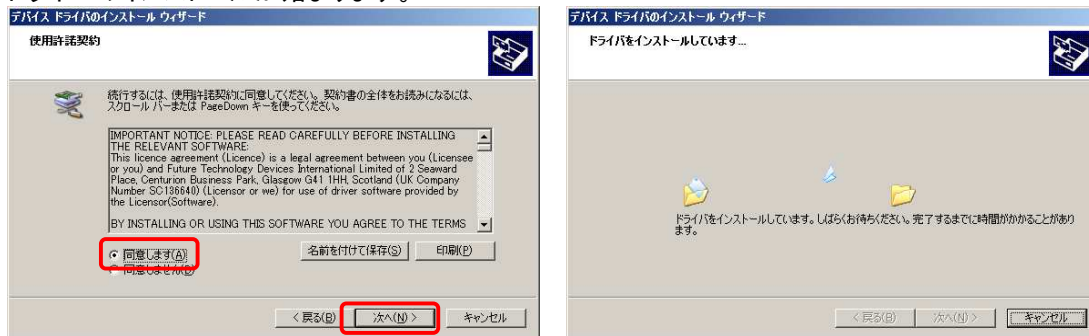
5. 「FTDI CDM Drivers」が表示されますので「Extract」をクリックします。



6. 「次へ」をクリックすると、インストールが始まります。



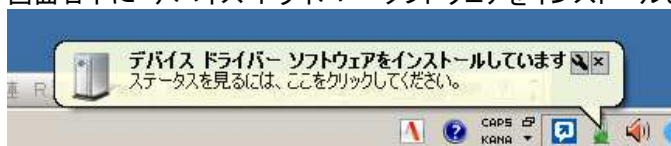
7.「デバイスドライバのインストールウィザード」では「同意します」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。ドライバのインストールが始まります。



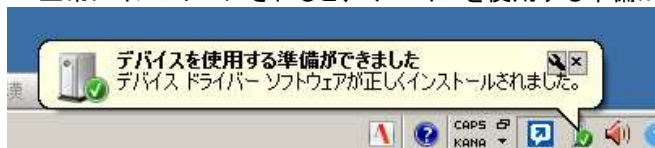
8.インストールが完了しましたので「完了」をクリックします。



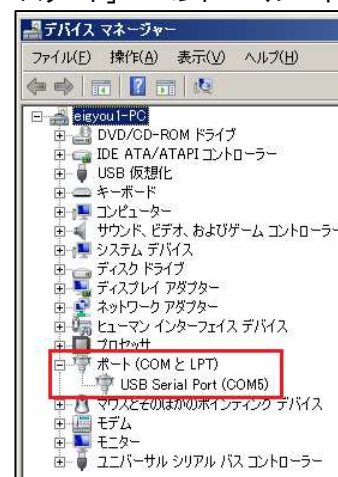
9.通報装置とパソコンを USB ケーブルで接続します。画面右下に「デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています」と表示されます。



10.正常にインストールされると、「デバイスを使用する準備ができました」と表示されます。



11.デバイスマネージャーを開き、ポートの確認をします。「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャー」



ポート(COM と LPT)内に「USB Serial Port (COM5)」と表示される事を確認します。ここで「USB Serial Port (COM5)」が表示されない場合は、インストールが正しく行われていません。